

# 第61回日赤薬剤師会臨床薬学研修会

## テーマ：臨床研究の扉を開こう

日時：2026年 3月 15日（日） 9:00～12:15

開催場所：日本赤十字看護大学

開催方法：集合研修およびWEB配信（ハイブリット方式）

参加費：日赤薬剤師会会員 1,000円 非会員 5,000円

主催：日赤薬剤師会

連絡先：yakuzaibu@med.jrc.or.jp

9:00

○会長挨拶：森 英樹（日赤薬剤師会会長・岡山赤十字病院）

○特別講演

9:05～10:05

座長：森 英樹（日赤薬剤師会会長・岡山赤十字病院）

研究計画書の作成と倫理審査～クリニカルクエスチョンからはじまる薬剤師の臨床研究～

岡山大学 薬剤部 臨床試験支援主任,  
新医療研究開発センター 治験推進部 副部長 黒田 智 先生

10:05～10:35

座長：滝澤 康志（飯山赤十字病院）

臨床研究の扉を開こう～失敗から学ぶ論文投稿への第一歩～

野口 裕介（京都第二赤十字病院）

10:35～10:45 休憩

10:45～12:15

○優秀論文賞受賞講演（各15分）

座長：堀 大（北見赤十字病院）・小池 彩子（岡山赤十字病院）

1) オレキシン受容体拮抗薬を主とした睡眠導入剤適正使用フォーミュラリー導入による、  
睡眠導入剤処方件数と転倒患者数の推移に関する実態調査

中村 隆志（仙台赤十字病院）

2) Establishment of an Antimicrobial Stewardship Program to Spare the Use of  
Oral Fluoroquinolones for Acute Uncomplicated Cystitis in Outpatients

加藤 智之（武藏野赤十字病院）

3) 抗菌薬適正使用支援チーム薬剤師によるバンコマイシン注の薬物血中濃度モニタリング  
に関するタスク・シフト/シェア体制の構築と有用性の評価

古川 早矢香（横浜市立みなと赤十字病院）

4) Impact of Introducing an Automatic Dispensing Device to Pharmacist  
Duties for Internal and External Medications

久保田 令枝（飯山赤十字病院）

5) Robotic Process AutomationとDatawarehouseを活用した観血的処置後の一時中断薬再開忘れ防止対策

櫛原 朋恵（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

12:20

○閉会挨拶：村上通康（日赤薬剤師会副会長・松山赤十字病院）

※日病薬病院薬学認定薬剤師制度単位 II-6（現地参加者のみ、事前申し込み必須）